

もくじ

はじめに[筒井照子].....	3
-----------------	---

I 口腔機能を診る

I-1 「歯があること」と「噛めること」.....	10
---------------------------	----

Case1-1A 噛めていたが、噛めない—加齢による咬合高径の低下—[筒井照子].....	14
Case1-1B 下顎位と習慣性咬合位が不調和だと噛めない[筒井照子].....	15
Case1-1C 生活習慣による下顎偏位のために噛めない[筒井照子].....	18

I-2 調和(バランス)を壊す生活習慣に注目する.....	19
-------------------------------	----

Case1-2A 添い寝の保育士—態癖の怖さを理解してもらうことの難しさ[飯田光穂].....	26
Case1-2B 口腔の崩壊と治癒の妨げに口唇癖、舌癖が強く影響することを経験した一例 [川端秀治].....	27
Case1-2C 態癖を改めず、治療後に歯列の乱れが再発した症例[西林 滋].....	29
Case1-2D 態癖の改善により矯正歯科治療終了後に一段とバランスが改善した症例 [西林 滋].....	31
Case1-2E 態癖指導が奏功せず頬杖が続き顎関節の問題を生じた症例[大山繁幸].....	33

I-3 咬合崩壊の診断と回復計画のための診断(2つの咬合論).....	36
-------------------------------------	----

Case1-3A 重篤な顎関節症患者のリラックスした顎位による咬合再構成[筒井照子].....	41
Case1-3B 下顎の右後方偏位がもたらされた経緯から咬合拳上のうえ咬合再構成した症例 [岡田祐輔].....	45
Case1-3C 顎関節症患者への咬合基本治療とその後の矯正歯科治療[大山繁幸].....	50
Case1-3D 頭痛、肩こりを訴える顎機能障害患者に対して咬合療法で改善を得た症例 [大八木孝昌].....	55

I-4 個体差.....	60
--------------	----

Case1-4A [顎顔面の個体差]強筋型・ストレートで切端咬合のリスクのある症例[筒井照子].....	67
Case1-4B [顎顔面の個体差]骨格性Ⅱ級・弱筋型のリスクのある症例[筒井照子].....	69
Case1-4C [顎顔面の個体差]強筋型、過蓋咬合症例における咬合再構成[池田伸次].....	71
Case1-4D [顎顔面の個体差]骨格性Ⅲ級・短顔型の咬合再構成[任 順興].....	77
Case1-4E [顎顔面の個体差]骨格性Ⅰ級・短顔型の総義歯による咬合再構成[太田雅之].....	82

Case1-4F	[全身体格の個性差：今までの日本人]睡眠態癖によって歯列が変形するも動揺は限局した症例[筒井照子]	87
Case1-4G	[全身体格の個性差：これからの日本人]不適切なブラケットポジションから全身的な不定愁訴を発症した症例[筒井照子]	90
Case1-4H	[メンタルの個性差]不定愁訴——治療をする前に考えるべきこと[木下俊克]	93
I-5 個性差に基づくスプリント療法		95
Case1-5A	スタビリゼーションスプリントによる下顎偏位の改善(診断用スプリント) [立花京子]	102
Case1-5B	軽度のOSASのASBPによる改善(治療用スプリント)[筒井照子]	109
Case1-5C	骨格性Ⅲ級・長顔型、逆被蓋が深くなった症例へのひさし型スプリントでの対応 (治療用スプリント)[筒井武男]	111
Case1-5D	側方ガイドスプリントで咬合の安定を得た症例(治療およびメンテナンス用スプリント)[筒井照子]	113
Case1-5E	側方ガイドスプリント症例(治療およびメンテナンス用スプリント) [藤田幸彦/松村正哲]	116
I-6 咬合様式と限界運動・咀嚼運動		119
Case1-6A	咬耗による咬合様式の変化 歯周・補綴治療後30年の経過[筒井照子]	122
I-7 顎関節は適応する		126
Case1-7A	関節突起・下顎頭の臨床的治癒像(リモデリング)[筒井照子]	127

II 顎口腔機能障害

II-1 顎口腔機能障害とは		132
Case2-1A	患者の語り(ナラティブ)から病態を読み解く[筒井照子]	134
Case2-1B	歯肉からの出血についても力の要素を無視しない[筒井照子]	136
II-2 顎口腔機能検査から何を読むか		138
Case2-2A	医療面接から検査を経て仮診断に至るまで[筒井武男]	140
Case2-2B	急性期の関節症状への対応から[野村英孝]	145
Case2-2C	まず患者の訴えに耳を傾けME機器により確かめる[藤原康則]	149
Case2-2D	経過良好と思われたが咬合再構成後15年を経て治療を見直した症例 [平野健一郎]	154

II-3 咬合基本治療 158

- Case2-3A** 自験例で経験したからだの歪みとその解消[筒井照子/蘭牟田佳予子] 161
- Case2-3B** 生理学的咬合を目指して機能の可視化に重点を置いた症例[石井彰夫] 164
- Case2-3C** 矯正歯科治療後の後戻りにより生じた咀嚼時疼痛に対する咬合基本治療
[小川晴也] 170
- Case2-3D** スプリントとリシェイピングによる顎関節症の改善[藤田幸彦] 174
- Case2-3E** 態癖の注意とスプリント, リシェイピングによる咬合接触面積の増大と咬合力の回復
[藤田 亨] 178
- Case2-3F** 咬合基本治療で症状の改善を確認したうえでアライナーにより歯列を回復した症例
[藤田 亨] 181
- Case2-3G** 繰り返すトラブルにあらためて咬合基本治療で対応する[永山智崇] 184

II-4 2つの基本治療 189

- Case2-4A** 限局型慢性歯周炎の治療における力のコントロール[帆足亮太郎] 191

III 多様な顎口腔機能障害への対応

III-1 顎関節症 198

- Case3-1A** 歯周組織の外傷を主徴とする顎関節症患者[大八木孝昌] 201
- Case3-1B** 顎関節症を主訴として訴えなかった患者[上谷智哉] 206
- Case3-1C** 態癖による歯列弓の狭窄と下顎の後退により発症した顎関節症[吉富 桂] 210
- Case3-1D** 骨格性III級不正咬合, 咬合不全をともなう変形性顎関節症[国賀就一郎] 214
- Case3-1E** 長顔型・ハイアングルの個体差をふまえた顎関節症・開咬・叢生の治療
[藤田勝也] 217

III-2 舌痛症・耳症状 222

- Case3-2A** 態癖をともなう不適切な修復治療により下顎偏位を生じ発症した舌痛症
[筒井照子] 225
- Case3-2B** 強い咬合力による咬合高径の低下と顎位の偏位による舌痛症を訴える患者
[木下俊克] 229
- Case3-2C** 舌痛の訴えに対処した全部床義歯治療 [太田雅之] 234
- Case3-2D** 難聴・耳鳴りを主訴とした下顎偏位症例 [倉田 豊] 238
- Case3-2E** 耳の痛みを訴える患者の全身の歪み [筒井照子] 243

III - 3	睡眠時無呼吸症候群(SAS)に対する歯科の役割	245
Case3-3A	咬合基本治療と上顎側方拡大による軽度のOSASのリスク管理[筒井武男].....	247
Case3-3B	下顎後退した患者に対するスプリントを用いたOSASの改善[筒井照子].....	251
III - 4	非歯原性歯痛	255
Case3-4A	下顎偏位による非歯原性歯痛の一例[筒井照子].....	257
III - 5	一般に「不定愁訴」とされるケースへの対応	260
Case3-5A	外科的矯正治療後に咬合違和感を生じ不定愁訴が発現した症例[大石恒子].....	262
Case3-5B	医原性に不正咬合が惹起された症例[常深伸介].....	266
Case3-5C	患者の訴えと顎口腔形態の所見が一致しない症例[坂口雄一].....	271
III - 6	顎口腔機能障害の改善をともなう咬合再構成	276
Case3-6A	原因を探ることなく「咬合再構成」され、咬合不安定となった症例の歯冠形態修正 [筒井照子].....	278
Case3-6B	顔面の非対称と顎機能障害をもつ患者に対する咬合療法をふまえた咬合再構成 [川口 敦].....	281
Case3-6C	う蝕の多発重症化により咬合崩壊に至った患者の全顎的な歯冠修復による咬合再構成 [国賀就一郎].....	286
あとがき	[国賀就一郎].....	291
索引	292
執筆者一覧	298